



10年間のあゆみ

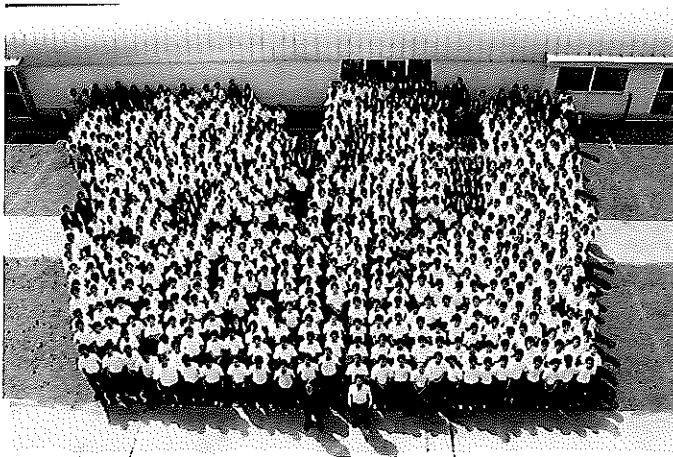
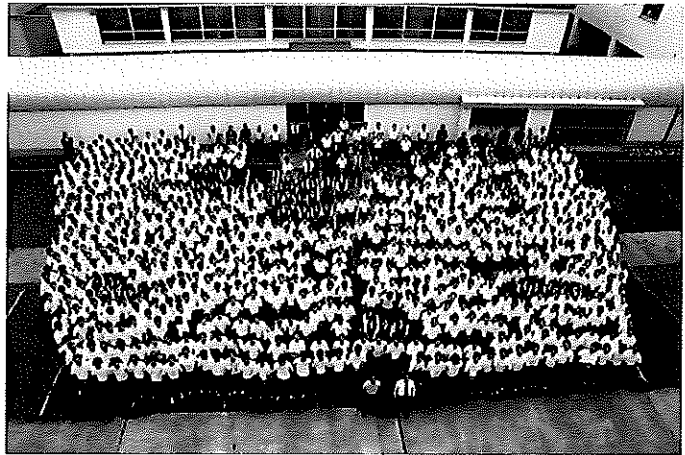


## 沿 革

昭和19年 4月 1日	「教育に関する戦時非常措置方策」に基づき、青森県八戸商業学校内に四年制甲種工業学校として創立、機械科、工業化学科を設置(校名 八戸市立工業学校) 館山太吉、校長兼務	昭和40年 4月 1日	県立弘前工業高等学校定時制課程主事、高野真美、本校校長となる
昭和20年 5月 1日	土木科新設	昭和40年 4月 7日	工業化学科に女子生徒入学許可(4名入学)
昭和21年 8月20日	青森県八戸商業学校と分離独立	昭和42年12月 8日	新体育館(鉄骨造り)完成 第1体育館と称する
昭和22年 2月 1日	館山太吉校長退職、河野秀吉校長代理	昭和43年 4月 1日	校訓制定
昭和22年 9月 1日	河野秀吉八戸市立工業学校長に補せられる	昭和44年 4月 1日	三八教育事務所長、西山勝治、本校校長となる
昭和23年 4月 1日	学制改革により八戸市立工業高等学校と改称、河野秀吉同校長となる	昭和44年 4月 1日	電子科を新設(電気科1学級減)
昭和23年11月15日	新築校舎一部(6教室)完成移転	昭和44年 4月 1日	定時制の課程(夜間)機械工作科、電気工作科設置
昭和26年11月 3日	校歌制定	昭和46年 4月30日	生徒会館完成
昭和29年11月 3日	校旗制定	昭和46年 9月30日	クラブ部室完成
昭和31年 3月22日	日東高等学校廃校により在校生編入	昭和47年 6月30日	テニスコート完成
昭和31年 3月28日	県へ移管、青森県立八戸工業高等学校と改称	昭和48年 4月 1日	県立八戸工業高等学校教頭、藤井慶太、本校校長となる
昭和31年 4月 1日	県立青森工業高等学校教頭、高橋平八、本校校長となる	昭和48年10月26日	「校舎新改築並びに創立30周年記念式典」を挙行 同窓会より校歌掲載額を寄贈される
昭和32年 4月 1日	機械科1学級増設	昭和49年 4月 3日	水泳プール完成
昭和33年10月24日	創立15周年記念式典を挙行	昭和49年 5月26日	土木科実習棟完成
昭和34年 4月 1日	電力科新設	昭和50年 4月 1日	県立五所川原工業高等学校長、田中秀夫、本校校長となる
昭和37年 4月 1日	電気科、工業化学科とも1学級増設(電力科を電気科と改称)	昭和52年 4月 1日	県立五所川原工業高等学校教頭、櫻庭順三、本校校長となる
昭和38年 4月 1日	県立八戸高等学校長、鈴木傳三郎、本校校長となる	昭和52年10月31日	第二体育館新築完成
昭和38年 4月 1日	金属工業科新設、土木科1学級増設	昭和53年11月25日	「校舎新築落成並びに定時制課程10周年記念式典」を挙行
昭和38年11月23日	鉄筋3階建校舎(15教室)完成	昭和55年 1月10日	機械科、工業化学科実習棟完成
昭和39年 6月30日	第二期工事(金属工業科棟、管理棟)完了	昭和55年 4月 1日	南部分校開設(建築科)
昭和39年10月 2日	創立20周年記念式典を挙行	昭和56年 4月11日	田向野球場完成・落成式挙行
		昭和58年 4月 1日	県立八戸水産高等学校長、仁科東男、本校校長となる

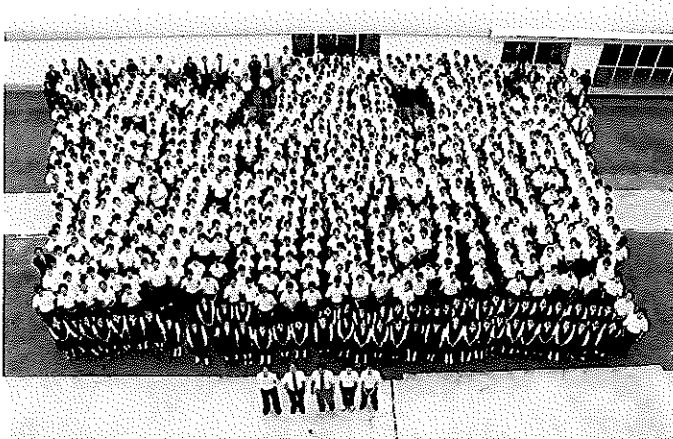
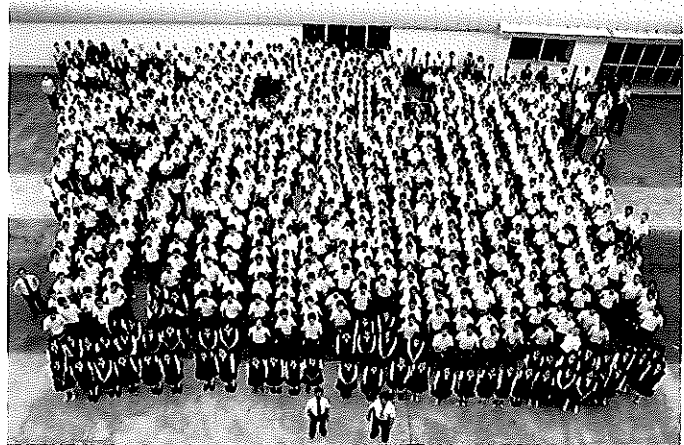
昭和58年11月 1日	創立40周年記念式典を挙行	平成16年 4月 1日	1学級あたりの定員男女あわせて35名となる
昭和60年 4月 1日	南部分校が青森県立南部工業高等学校へ昇格独立	平成17年 4月 1日	県立青森高等学校付、佐藤和志、本校校長となる
昭和62年 4月 1日	県立八戸工業高等学校定時制課程教頭、前田政男、本校校長となる	平成21年 4月 1日	県立青森工業高等学校教頭、高松彰、本校校長となる
平成元年 4月 1日	情報技術科新設（工業化学科1学級減）	平成21年 4月 1日	工業化学科、募集停止となる
平成 2年 4月 1日	県立八戸商業高等学校長、赤澤正敏、本校校長となる	平成24年 4月 1日	県立五所川原工業高等学校教頭、赤坂裕一郎、本校校長となる
平成 2年 4月 1日	電子機械科新設（機械科1学級減）	平成24年 4月 1日	2期制から3学期制となる
平成 3年 3月25日	柔剣道場新築	平成25年 4月 1日	土木科、本年度より土木建築科に改称し、土木コース、建築コース別の募集となる
平成 4年 4月 1日	県立六戸高等学校長、内海正俊、本校校長となる	平成25年11月 2日	創立 70 周年記念式典を挙行
平成 5年 4月 2日	校歌碑完成	平成27年 4月 1日	県立南部工業高等学校と統合
平成 5年10月 5日	県立十和田工業高等学校長、山田勇、本校校長となる	平成28年 4月 1日	県教育庁教職員課主任指導主事、一戸利則、本校校長となる
平成 5年11月26日	創立50周年記念式典を挙行	平成29年 4月 1日	県教育庁学校教育課副参事、高谷悟、本校校長となる
平成 6年 4月 1日	金属工業科、本年度入学生より材料技術科と改称	平成30年 4月 1日	県立青森工業高等学校教頭、瀬川浩、本校校長となる
平成 8年 3月20日	運動場整備工事（テニスコート4面）完了	令和 3年 4月 1日	電子機械科、情報技術科、土木建築科、募集停止となる
平成 8年 8月24日	屋内総合運動場完成	令和 3年 4月 1日	土木科、建築科新設
平成 9年 2月14日	県立弘前工業高等学校教頭、神頼孝、本校校長となる	令和 3年 4月 1日	県教育庁学校教育課副参事、竹谷孝治、本校校長となる
平成11年 4月17日	新校旗を同窓会より寄贈される	令和 4年 1月 7日	西渡り廊下改築
平成12年 4月 1日	県立南部工業高等学校長、加賀勝、本校校長となる	令和 5年 2月17日	管理棟改築
平成13年 4月 1日	土木科1学級減、1学級となる	令和 5年 4月 1日	県立十和田工業高等学校長、佐藤努、本校校長となる
平成14年 2月25日	弓道場「拓真館」完成		
平成14年 4月 1日	県立八戸商業高等学校長、関合信孝、本校校長となる		
平成15年 3月27日	第一体育館改築		
平成15年 4月 1日	3学期制から2期制となる		
平成15年11月 8日	創立 60 周年記念式典を挙行		

平成 25 年度 (2013)



平成 26 年度 (2014)

平成 27 年度 (2015)



平成 28 年度 (2016)

平成 29 年度 (2017)



平成 30 年度 (2018)

令和元年度 (2019)



令和 2 年度 (2020)

令和3年度 (2021)



令和4年度 (2022)



令和5年度 (2023)

# 10年間のあゆみ

2014年(平成26年)3月14日(金曜日)

## 難関資格に合格 甲種危険物取扱者

青森県立八戸工業高校(赤坂裕一郎校長)の材料技術科2年三村君(17)と、県立むつ工業高校(久慈恵司校長)の設備・エネルギー科1年坂本君(16)が、2013年度甲種危険物取扱者試験に合格した。12日、2人にそ

れぞれの高校で資格証が授与された。三村君は「他にもいろいろな資格にチャレンジしたい」、坂本君は「挑戦する気持ちで受けたので、合格できてうれしい」と喜びを語った。(三浦千尋、福田峻)

三村君(17歳)



見事に難関を突破、甲種危険物取扱者に合格した三村君

「他にもチャレンジ」

甲種危険物取扱者は、消防法が定める全ての危険物を扱うことができる。甲種資格、消防試験研究センター主催の講習によるので、開校後の合格率は

坂本君(16歳)



甲種危険物取扱者に、高校1年で初めて合格した坂本君

「エネ関係の仕事に」

坂本君は計11時間の講習を受講し、14日間の試験で異なりペンを果たした。三村君は「開校の授業も頑張って、進めたい。坂本君は、二回も試験を受け、合格取得者を取りたい。将来はエネルギー関係の仕事に就きたい」と、さらなる成長を誓った。

三村君は「開校の授業も頑張って、進めたい。坂本君は、二回も試験を受け、合格取得者を取りたい。将来はエネルギー関係の仕事に就きたい」と、さらなる成長を誓った。

2014年3月14日 デーリー東北掲載

2014年(平成26年)8月16日(土曜日)

## 研究発表競う「材料フェスタin仙台」



2人は「材料技術科実習で使用したアルミナのリサイクルに関する研究」を発表した。4月から研究に取り組んできた同科の実習で利用するアルミナについて実習で失敗した廃棄物を再利用した際の強度もを考察した。審査したのは、専門家16名企業関係者で、鋭い質問に緊張して、考えて答えるのが大変だった。沼沢君は「ポスターを使用した研究発表会「材料フェスタin仙台」で入賞した八戸工業材料技術科3年の沼沢君(左)と飛嶋君(右)。

## 沼沢君、飛嶋君(八工)入賞

### アルミナ再利用を考察

仙台市で7月28、29日に初めて開かれた、材料技術に関するポスターを使用した研究発表会「材料フェスタin仙台」で、青森県立八戸工業高が1、2位、株式会社を獲得した。材料技術科3年の沼沢君(左)と飛嶋君(右)もが、授賞の経験を生かしポスターを制作、発表した。東北各県などから高専や大学も出場した中での入賞に、関係者は喜んでいる。(林泰輔)

君。ただ、最先端の現場で働く人からのフィードバックに「他の材質で同じことを試したらどうなるか」など試してみたいという意見も多かった(飛嶋君も受賞も多かったという。受賞が決まったとき、飛嶋君は「もういい」と口をそろえる2人。沼沢君は他の発表も見てみます材料に興味を湧かした。今後沼沢君は意欲を見せ、飛嶋君は社会に出てからも発表した経験を生かしたいと刺激を受けた様子だった。

2014年8月16日 デーリー東北掲載



# 平成26年 (2014)

日 津辰

2014年 (平成26年) 11月14日 金曜日 (14)

合格証書を手にする生徒たち



## 2年連続 全員合格 八工材料技術科の64人

八工工業高校材料技術科の2、3年生計64人が、8月に試験が行われた国家資格「技能検定3級金属熱処理」を受検し、全員が合格した。同科は昨年、県内で初めて実施された同検定に3年生34人が挑戦、全員が合格しており、2年連続で合格率100%となった。試験は県職業能力開発協会が実施団体となり、8月24日に筆記試験が、同31日に実技試験が、いずれも八戸市内で行われた。同科の生徒は、日ごろの授業に加え、自習プリントや夏休みの4日間の特別講習などで受検の準備を進めた。首都圏の大手鉄鋼会社に就職が内定している3年の水渡秀樹君(18)は「この学

国家資格「3級金属熱処理」

さがそう！まるごと青森県【応募方法は21面】

### 八戸 三戸



- 八戸市 階上町  
八戸支社  
☎0178⑩2222  
FAX⑩2223
- 三戸町 田子町 南部町  
三戸支局  
☎0179②1128  
FAX②4183
- 五戸町 新郷村  
五戸支局  
☎0178⑥5300  
FAX⑥6654

◆購読申し込みは☎0120-46-5939

科で学ぶことができて良かった。得た知識を社会人になっても生かしたい」と笑顔。2年の山田淳平君(17)は「暗記に時間がかかったが、勉強したことは自分の力になる。もっと別の資格の取得も目指したい」と話した。

材料系学科のある工業高校は、八工工業高を含め全国10校のみ。同校材料技術科主任の坂下哲也教諭(40)は「部活の大会などで受検できなかった生徒もいたが、受検した生徒は全員が合格できた。学科の特色を生かし、来年度以降も継続

的に生徒への受検を勧めていきたい」と話している。(岡田圭逸)

# 10年間のあゆみ

## 十和田

### 市内の小中学生 ものづくり挑戦

#### 科学の奥深さ学ぶ

十和田市少年少女発明クラブ（佐々木忠一会長）は6日、同市南公民館の発明クラブ研修棟で「科学ものづくりチャレンジ教室」を開いた。同市の小学5年生から中学2年生までの16人が科学の奥深さを学んだ。

青森県立八戸工業高材

料技術科の坂下哲也主任



ボール盤を使って慎重に穴を開ける子ども

や3年生7人が講師を務めた。参加者は鑄造技術を応用してタイヤを製作し、ミニカーを作ることには挑戦。スズとビスマスと鉛の合金を電熱器で溶かし、彫刻刀で円形に削った石ごうの型に流し込んでタイヤを製作。坂下さんや高校生に手伝ってもらいながら、ボール盤でタイヤの中央に穴を開けるなどし、モーターで動くミニカーを組み立てた。

同クラブの十和田市立東中2年の佐々木惟斗君（ミ）は「鑄造や合金について難しいと感じたけど面白いと思った。タイヤが、がたがたになったのは型を作るときに丸くできなかったのが原因かな」と感想を述べた。

（柴田一輝）

2015年9月7日 デーリー東北掲載

# 平成27年 (2015)

デーリー東北

2015年(平成27年)10月31日(土曜日)

つたえる地域 つながる地域

全員での合格達成に喜ぶ生徒たち



3級金属熱処理受検 八工高材料技術科2年

## やった！31人全員合格

八戸

今年8月に実施された  
国家資格の技能検定3級

金属熱処理で、受検した青森県立八戸工業高(赤坂裕一郎校長)材料技術科2年の31人全員が合格した。同科の合格率100%達成は、青森県での受検が可能になった2013年から3年連続。一丸となって頑張ってきた目標達成に生徒の喜びはひとしおだ。(玉川那津美)

### 3年連続目標達成

同検定は、筆記と実技の2部構成で、県職業能力開発協会が実施。鉄鋼材料の性質や製作などについて問う。

県内唯一の同科は、2年の専門科目「工業材料」で、同検定に関わる内容を学習。過去問を繰り返し返し解き、間違えた箇所を何度も勉強するなどして検定に備えた。

合格の知らせを受けた今月4日には全員で喜び、お互いを祝福したという。春日祐樹君(こは)は「2年連続で全員合格しているというフレッシュヤーがあった」と振り返り、「それに負けずまた達成できてうれしい」と笑顔。濱浦尚也君(こは)は「部活と勉強の両立が大変だったけど、合格できて良かった」と話した。

同科の坂下哲也主任は「生徒たちは一生懸命に取り組んでくれた。この資格は八戸で盛んな素材産業に役立つ。自信にもつながったのでは」と声援を送った。

2015年10月31日 デーリー東北掲載

# 10年間のあゆみ

弁論部門

**第37回青森県立八戸工業高等学校総文祭**

第37回青森県立八戸工業高等学校総文祭第2日は22日、弘前市を主会場に14部門を行った。弁論部門では、演題「お互い様」が街をつくるを発表した嶋守龍成さん(八戸工業2年)が、最優秀賞に選ばれた。

青少年赤十字部門の体験発表では、大館菜月さん(八戸商業2年)が最優秀賞を獲得。国際理解部門の英語発表で細山美羽さん

**嶋守さん(八戸工) 最優秀賞**

「り物」  
高等学校 一年小西小

「受動喫煙を」  
高等学校 二年

「のて」  
高等学校 一年大村 遼



弁論部門で最優秀賞に選ばれた嶋守龍成さん(八戸工) =22日、青森市

【弁論】  
 ▼最優秀賞Ⅱ嶋守龍成(八戸工)  
 ▼優秀賞Ⅱ佐々木未菜(八戸北)  
 ▼優秀賞Ⅱ田中美羽(同)小向啓太(工大) 松室杏乃(八戸専)

2016年10月23日 デーリー東北掲載

デーリー東北

2016年(平成28年)11月2日(水曜日)

つたえる地域 つながる地域

技能検定の3級金属熱処理に合格した生徒たち



八戸工高・材料技術科2年生 4年連続全員合格

## クラス一丸で努力

技能検定3級金属熱処理

**八戸**

青森県立八戸工業高の材料技術科の2年生33人が、8月に八戸市で行われた国家検定の「技能検定3級金属熱処理」に挑み、全員合格を果たした。合格率100%は4年連続。クラス一丸で努力し、先輩から託された「バトン」を後輩へ引き継いだ。(金澤一徳)

材料技術科は、臨海部などで勉強してきたことで素材感が盛んな八戸が全員合格につながった地域ならではの学科。青た」と誇り、森県内では八戸工業高の「授業だけでなく、生徒みがかかり、全国的にも珍しい。

3級金属熱処理検定から検定の本番に向けては、鉄鋼などの材料の性質準備を積んだ。柳沢樹輝君に関する筆記問題や熱さん(1)は、フレッシュな処理の実技試験を行い、「はあったが、クラスで生徒たちにとっては学校と同じ目標を目指せ、力での学習成果を試す機会になった」と振り返る。

指導に当たった坂下哲也教諭(42)は全員合格が0%を言葉に検定に挑んでいることについて挑戦した生徒たち。部活「みんなで頑張る姿勢」の両立を苦男したことが、学科の特長として今いう中田剛太さん(16)は後も受け継がれていけ「涙みも出校して、みば」と話す。

2016年11月2日 デーリー東北掲載

平成28年 (2016)

## 高度な技術者育成へ



協定書に署名し握手を交わす長谷川明学長（左）と一戸利則校長＝28日、八戸工業大

## 八工大と八工高 教育、研究で連携協定

八戸工業大（長谷川明学長）と青森県立八戸工業高（一戸利則校長）は28日、教育と研究に関する連携協定を締結した。両校の専門性を生かし相互に協力する

ことで、人材育成などに向けた取り組みを強化する。同大は今年3月に岩手県立種市高と協定を結んだが、青森県内の高校とは初の連携の内容は、学生や生

徒の教育と研究に関する事業、教員の資質向上など。両校はこれまで、大学が高校生をインターンとして受け入れたり、大学生が高校で教育実習をしたりするなど連携を続けてきた。今回の締結で、より組織的にこれらの取り組みを広めることが可能となる。

この日、同大で開かれた調印式で、長谷川学長と一戸校長が協定書に署名した。長谷川学長は「技術を高度化して展開できる人材が求められている今、（今回の締結は）地域の工業を拡大していくための第一歩だと思う」、一戸校長は「次世代の工業を担う技術者を育成し、地域に貢献できた」とそれぞれ抱負を述べた。

（玉川那津美）

2016年11月29日 デーリー東北掲載



# 平成29年 (2017)

UCIジュニアトラック世界選手権のチームスプリントに出場した磯島成介(左、提供写真)



## 自転車ジュニア世界選手権 チームスプリント

# 磯島(八戸高) 日本ジュニア新

同校の高谷倍校長、自転車部顧問の大野直志教師と

8月にイタリアで行われた自転車UCIジュニアトラック世界選手権に出場し好記録を収めた、青森県立八戸工高3年の磯島成介(18)が14日、県教委に中村充教育長を訪ねて、10月の愛媛国体でのさらなる飛躍を誓った。

磯島は同世界選手権に日本チームメンバーとして出場。チームスプリントで3走を務め、日本ジュニア記録を更新する46秒641で8位入賞を果たした。また、1000メートルタイムトライアルで1分4秒724を出し、県高校記録を塗り替えた。

# 1000メートルTTも県高校記録更新

県教委を訪問した磯島は「世界レベルになると体格差もあって、いろいろ学ぶ機会もあつた。おめでとう」と



UCIジュニアトラック世界選手権での活躍を報告する磯島成介(左)＝14日、青森市

とねぎらった。10月の国体に向けては「優勝できる力は付いてきたと思う。良い走りをしてい」と意気込んだ。(向中野一樹)

# 10年間のあゆみ

北

2018年(平成30年)3月29日(木曜日)

つたえる地域 つながる地域

## 山上憶良短歌賞 八工高生5人入賞 梅田さん(3年)最高賞

山上憶良短歌賞で入賞した八工工業高の生徒



〈外国人の母に日本語教えるもカタコト言葉もかわいくて好き〉

### 八戸

青森県立八戸工業(倉谷校長)の生徒5人が、「第6回山上憶良短歌賞」(鳥取県倉吉市教委主催)の高校生部門で入賞した。このうち、3年梅田優美花さんが最高賞に当たる「憶良賞」に輝いた。優秀校に贈られる「学校賞」にも同校が選ばれ、学校関係者は喜びに湧いている。

同短歌賞は、家族を思い出さなくなったとく似る最初は歌が思いやる歌多く詠んだ奈良時代の歌人山上憶良にちなみ、家族で開く私生活の「白蓮」をテーマに、高校生の部には、全国から1577首が寄せられた。

梅田さんは「外国人の母に日本語教えるもカタコト言葉もかわいくて好き」と、日常生活での母親とのやりとりを素直に詠んだ。24日に倉吉市で行われた表彰式に出席し、「何げなく作った作品が高く評価されて、びっくりした。高校最後のいちやんと庭になる柳だ。」

同短歌賞は、家族を思い出さなくなったとく似る最初は歌が思いやる歌多く詠んだ奈良時代の歌人山上憶良にちなみ、家族で開く私生活の「白蓮」をテーマに、高校生の部には、全国から1577首が寄せられた。

梅田さんは「外国人の母に日本語教えるもカタコト言葉もかわいくて好き」と、日常生活での母親とのやりとりを素直に詠んだ。24日に倉吉市で行われた表彰式に出席し、「何げなく作った作品が高く評価されて、びっくりした。高校最後のいちやんと庭になる柳だ。」

2018年3月29日 デーリー東北掲載

## 鳥取・倉吉「山上憶良短歌賞」 八工工業学校賞を受賞



学校賞の表彰状を受賞する八工工業高の瀬川浩校長(左)と佳作の吉田さん

鳥取県倉吉市教委主催の「第6回山上憶良短歌賞」で八工工業高校が学校賞を受賞した。同校はほぼ全生徒が計661首を応募、高校の部で最高賞をはじめ5人が入賞を果たした。

奈良時代の歌人で家族への愛を多く詠んだとされる「形式が行われた。」

同賞最高賞の「憶良賞」を獲得したのは梅田優美花さん(倉吉時3年)の「外国人の母に日本語教えるもカタコト言葉もかわいくて好き」。佳作には関川慶太さん(同)、佐々木宏太郎さん(同)、石橋結梨さん(同)、吉田脩起さん(同)1年が入賞した。

今春、土木建築科2年に進級した吉田さんの作品は「フオリテイなぜか落ちない母の味朝大時には出勤の母。毎日早朝から仕事に出かける母への感謝と尊敬の念を込めた。」「毎朝早くから弁当を作ってくれ、おいしい汁支すこともない。普段は特に感じていなかったが、家族へ向けた歌を作ることになり、改めて感謝の思いを込めた」と語った。(若松清巳)

2018年6月9日 東奥日報掲載





# 10年間のあゆみ

## 畑崎(八工)大会新V

男子競走車3000個人追い抜き

青森県高校総体  
男子競走車個人追い抜き  
29日、青森市の競走車場  
で行われた、青森県高校総  
体競走車3000個人追い  
抜き大会で、畑崎(八工)が  
大会新記録で優勝した。

畑崎(八工)は、競走車3000個人追い抜きで、大会新記録で優勝した。競走車3000個人追い抜きは、競走車3000個人追い抜きで、大会新記録で優勝した。競走車3000個人追い抜きは、競走車3000個人追い抜きで、大会新記録で優勝した。

「もっとタイム出せた」  
畑崎(八工)は、競走車3000個人追い抜きで、大会新記録で優勝した。競走車3000個人追い抜きは、競走車3000個人追い抜きで、大会新記録で優勝した。

## 吉川(八工)県高校新 男子61kg級

73kg級 世永(五所工) 89kg級 木村(八工)も

県高校総体  
男子61kg級  
吉川(八工)が優勝した。

世永(五所工)は73kg級で、木村(八工)は89kg級で優勝した。

2019年5月29日 デーリー東北掲載

2019年6月2日 東奥日報掲載

## 男子は八工4年ぶり

### 2中差の接戦制す

男子競走車3000個人追い抜きで、八工が4年ぶりに優勝した。

小野川口組(三栄冠)女子  
八戸男女制す

## 八戸工 無念の準V

高校軟式野球青森大会  
準決勝 八戸工 対 弘前工

散発4安打、三塁踏めず

八戸工は、準決勝で弘前工と対戦したが、4安打の散発で三塁踏めず、準決勝で敗れた。

2019年7月2日 デーリー東北掲載

# 令和元年 (2019)

## 畑崎(八戸)10位 男子3000

個人追い抜き 男子スクラッチ 下川原(空)決勝へ

【自転車男子3000個人追い抜き】八戸市立八戸高等学校の畑崎(八戸)が、10位でゴールした。...



畑崎(八戸)が10位でゴールした。...

## 入賞逃し「全然駄目」

畑崎(八戸)は、入賞逃し「全然駄目」と振り返る。...



【自転車男子ポイントレース予選】...

2019年8月1日 デーリー東北掲載

東奥日報 津沢 2019年(令和元年)12月5日 木曜日 (12)

※最寄りの支社局へ 県内各地域の情報をお寄せください

## 八戸 三戸



国家資格2級金属熱処理技術科生 八戸生11人合格...

2019年12月5日 東奥日報掲載

で、食糧に格別な注目を集めて...

津沢 2019年(令和元年)12月14日 土曜日 スポーツ (12)

## 八工が準決勝進出

### 八学光星、一歩及ばず

アイスホッケー



【アイスホッケー】八戸工高が準決勝に進出した。...

2019年12月14日 東奥日報掲載

## 危険物「甲種」ダブル合格



八戸工高3年荒木さん「自信付いた」 中村教諭「生徒たちの刺激になれば」

【八戸】 校長立八戸工高(八戸)の荒木さん(18)と、...

2019年12月19日 デーリー東北掲載

# 10年間のあゆみ

## 全国高校スケート・Hきょう開幕

### スピード 2年橋本(八戸)表彰台に期待 フィギュア 大澤(三沢)ら予選通過なるか






「H工大」2回戦がヤマ場

2020年1月22日 デーリー東北掲載

## 八戸工卓球部 全国へ

### 市内初、「目標16強以上」

#### 東北高校選抜男子学校対抗6位



2020年2月19日 デーリー東北掲載

## 多くの資格取得「ジュニアマイスター」 材料技術科3年全員認定

### 特別表彰に5人




2020年3月12日 東奥日報掲載

## フェースガード、消毒液

### 自作品でコロナ対策




2020年6月14日 東奥日報掲載

# 令和2年 (2020)

デーリー東北

2020年(令和2年)7月15日(水曜日)

## 八工 乱打戦制す

### つなぐ打撃、5点差なんの



【1回戦】 八戸工高 5対0 千歳工高

八戸工高は、1回戦で千歳工高を5対0で破り、大会初戦を白星で飾った。この日は、1回戦で千歳工高を5対0で破り、大会初戦を白星で飾った。この日は、1回戦で千歳工高を5対0で破り、大会初戦を白星で飾った。

### 足の八東「やり切れた」



【1回戦】 八戸工高 5対0 千歳工高

八戸工高は、1回戦で千歳工高を5対0で破り、大会初戦を白星で飾った。この日は、1回戦で千歳工高を5対0で破り、大会初戦を白星で飾った。

2020年7月15日 デーリー東北掲載

デーリー東北  
2020年(令和2年)11月11日(水曜日)

つたえる地域 つながる地域

## 授業を共有 専門分野理解



### 八戸工高と十和田工高

【十和田校】は、11月10日、八戸工高と十和田工高の両校で、専門分野の授業を共有する取り組みが実施された。この取り組みは、両校の生徒が、互いの専門分野の授業を体験し、理解を深め、将来の進路選択に役立てることが目的とされている。

八戸工高の生徒は、十和田工高の専門分野の授業を体験し、理解を深めた。また、十和田工高の生徒も、八戸工高の専門分野の授業を体験し、理解を深めた。

この取り組みは、両校の生徒が、互いの専門分野の授業を体験し、理解を深め、将来の進路選択に役立てることが目的とされている。

2020年11月11日 デーリー東北掲載

## 八工が決勝進出

### アイスホッケー 八戸を10-0



【1回戦】 八戸工高 10対0 千歳工高

八戸工高は、1回戦で千歳工高を10対0で破り、大会初戦を白星で飾った。この日は、1回戦で千歳工高を10対0で破り、大会初戦を白星で飾った。

八戸工高は、1回戦で千歳工高を10対0で破り、大会初戦を白星で飾った。この日は、1回戦で千歳工高を10対0で破り、大会初戦を白星で飾った。

2020年12月16日 東奥日報掲載

デーリー東北

2020年(令和2年)11月24日(火曜日)

つたえる地域 つながる地域

## 八戸工高1年 東北大会V



【1回戦】 八戸工高 5対0 千歳工高

八戸工高は、1回戦で千歳工高を5対0で破り、大会初戦を白星で飾った。この日は、1回戦で千歳工高を5対0で破り、大会初戦を白星で飾った。

八戸工高は、1回戦で千歳工高を5対0で破り、大会初戦を白星で飾った。この日は、1回戦で千歳工高を5対0で破り、大会初戦を白星で飾った。

2020年11月24日 デーリー東北掲載

# 10年間のあゆみ

デーリー東北

2021年(令和3年)1月21日(木曜日)

青春を「ものづくり」に賭ける。青森県立八戸工業高(八戸高)に今年度誕生した部活動「工業部」の活躍が注目される。生徒は意欲をこめて授業以外の専門知識や技術の習得が可能な、日々の活動では「チームワーク」「集中力」「履歴」の大切さを学びなが

ら、木材や機械などと真剣に向かい合い、プロ顔負けの情熱を注ぐ。ライバル校とも同練習場などで切磋琢磨(せつさくさくま)しあっている。ものづくりコンテストなど各種大会では1年目から好成績を挙げ、脚光を浴びている。(金漬千恵希)

## 工業部 快進撃



工業部で技術を磨く部員たち(写真はカラー写真)

### ものづくりコン県、東北大会V

#### 学科の垣根越え全7チーム

「ものづくりコン県」は、県内各高校の工業部が参加する大会で、今年度は東北大会で優勝した。工業部は、部員が意欲をこめて授業以外の専門知識や技術の習得が可能な、日々の活動では「チームワーク」「集中力」「履歴」の大切さを学びなが

学科の垣根越え全7チームで、新メンバーの加入もあって、昨年度に引き続き優勝した。工業部は、部員が意欲をこめて授業以外の専門知識や技術の習得が可能な、日々の活動では「チームワーク」「集中力」「履歴」の大切さを学びなが

2021年1月21日 デーリー東北掲載

一東北

2021年(令和3年)2月2日(火曜日)

つたえる地域 つながる地域

### 高校生ものづくりコン県大会

## 木材加工部門 岡田さん(八戸工) V



高校生ものづくりコン県大会で優勝した岡田さん

「手応えあったが驚き」 岡田さんは、木材加工部門で優勝した。工業部は、部員が意欲をこめて授業以外の専門知識や技術の習得が可能な、日々の活動では「チームワーク」「集中力」「履歴」の大切さを学びなが

2021年2月2日 デーリー東北掲載

デーリー東北

2021年(令和3年)2月24日(金曜日)

## 地道な研究実り快挙

### 高校生技術アイデアコン全国大会 八戸工高が理事長特別賞



「地道な研究実り快挙」 八戸工高の学生が、高校生技術アイデアコン全国大会で理事長特別賞を受賞した。工業部は、部員が意欲をこめて授業以外の専門知識や技術の習得が可能な、日々の活動では「チームワーク」「集中力」「履歴」の大切さを学びなが

2021年2月24日 デーリー東北掲載

東奥日報

2021年(令和3年)1月23日 土曜日



## 八工逆転初の8強

ハイライト 終盤執念 好機逃さず 八戸工業高校のアイスホッケー部が、全国高校アイスホッケー大会で初の8強入りを果たした。工業部は、部員が意欲をこめて授業以外の専門知識や技術の習得が可能な、日々の活動では「チームワーク」「集中力」「履歴」の大切さを学びなが

2021年1月23日 東奥日報掲載

デーリー東北

2021年(令和3年)3月2日(火曜日)

つたえる地域 つながる地域

### 八戸工業高生144人「ジュニアマイスター」認定

## 特別表彰者に3人



葛西さんら、高度な資格取得

「特別表彰者に3人」 八戸工業高校の学生が、ジュニアマイスター認定試験で特別表彰者に選ばれた。工業部は、部員が意欲をこめて授業以外の専門知識や技術の習得が可能な、日々の活動では「チームワーク」「集中力」「履歴」の大切さを学びなが

2021年3月2日 デーリー東北掲載



# 10年間のあゆみ

## 国家資格 32人全員合格



「工事担任者第2級デジタル通信」に全員合格した電子科3年の生徒

工事担任者第2級デジタル通信  
八戸工高電子科3年、喜び

【八戸】青森県立八戸工業高等学校電子科3年の生徒32人が、光ケーブルなどの接続工事や工事の監督ができる国家資格「工事担任者第2級デジタル通信」にクラス全員で合格した。この資格を電子科のクラス全員が取得したのは8年ぶり。生徒たちは目標を達成し、喜びをかみ締めている。（松橋雄也）

資格試験は日本電子通信協会が主催し、年2回実施。生徒たちは1年時の8月から学習を始め、1、2年時の11月と今年5月の計3回の試験を経て、最終に全員合格を達成した。

さらに、2級より工事できる範囲が広い「工事担任者第1級デジタル通信」に3人、準1級資格の「工事担任者総合通信」に6人が合格。総合通信にこの学校から、複数人の取得が出るのは初めても珍しいという。

2級と総合通信を取得し、指導大塚さん18は「休み時間や放課後など空いている時間を有効に活用した。努力は報われる」とうたとを実感した。2級を取った吉田時大さん18はこの経験を生かして、就職や進学に向けて今後を語った。

電子科主任の佐々木正樹教諭は「生徒たちは本当に強く頑張った。自発的に取り組む姿勢が褒められたと思う」と努力をたたえた。

2021年7月4日 デーリー東北掲載

## 八工 2戦連続逆転勝ち 五工・工科 守備乱れる

八戸工  
1003  
0003  
1320  
1210  
X0  
87

▽2回戦（ダイシンベースボールスタジアム）  
五所工・五所工科



【評】八戸工が終盤に粘り強さを発揮し、初戦に勝ちを収めた。最大5点前適時打で勝ち越し、最終回の反撃を太田が抑え、死球と捕逸で得点圏を制した。

【五所工・五所工科―八戸工】7回裏、八戸工1死三塁、七役が左前適時打を放ち、7―7の同点に追いつく―ダイシンベースボールスタジアム

五所工・五所工科は序盤から連打で得点を重ねたものの、四回以降は守備の乱れで毎回失点。八回2死一、三塁の好機も生かせなかった。

◆投打で勝利に貢献した八戸工の太田（3年）立ち上がりはカーブが定まらなかったが「お前にかいがない。強く行け」と捕手の七役から声を掛けられ奮起できた。今までの投手として活躍できていなかったため、やっとチームに貢献できたという思いでいっぱい。次戦は聖域。この勢いのまま勝ちにいこう。

◆1点差で勝利を逃した五所工・五所工科の主将今（3年）プレーや声出してチームを引っ張っていかうとの思いで試合に臨んだ。守備が乱れて失点。負けたことは悔しいけれど後悔はない。やりきった。

2021年7月19日 東奥日報掲載



# 令和3年 (2021)

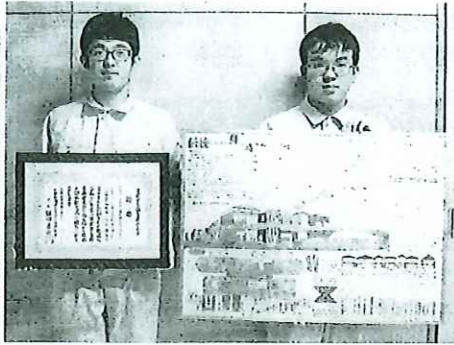
デーリー東北

2021年(令和3年)11月12日(金曜日)

八工高3年 小笠原さん、二子さん

## 「建築甲子園」県大会V

青森県八工工業高(分登孝校長) 土木建築科三年の小笠原知さん18、二子隼さん19が、10月に帝産会が行われた第105回校生の「建築甲子園」青森県大会を優勝し、2人は、海や川に面した採光的な建築様式の舟屋をテーマとして生まれ変わる設計プランを提案し、高く評価された。(金野千佳希)



建築甲子園県大会を優勝した小笠原知さん(左)と二子隼さん

### 舟屋の地区センター改修案、高評価

建築甲子園は、土木建築士連合会、各都府県建築士会主催。今回のテーマは「地域の心」。じかんの地やセンター。地域の生活様式や周辺環境を目的、コミュニティーの核となるような地区センターの設計プランを募集した。県大会は4校から作品の応募があった。2人は「伝統をのせた舟屋の活用方法が課題となっていた。舟屋をリフォームし、用途を拡張。7棟が連なった舟屋群を盛り出す。下谷でつなぎ、1階は出店、2階は会議室や多目的ホール。デザインといった地区センター機能を備えた。審査員からは「全作品の中で最もテーマに迫っていた」との褒めを受けた。優勝の1校は、小笠原さんは「図面制作よりもプランの詰めるところに時間を割いてしまったが、図面の出来りも内容評価してもらえて良かった」と笑顔。二子さんは「一回をきっかけ、さらに設計について深く学びたい」と思えた」と優勝を誇っていた。

2人の作品は、11~12月に行われる全国大会で審査される。

2021年11月12日 デーリー東北掲載

東奥日報

2021年(令和3年)11月20日 土曜日 (18)

## 国家検定「2級金属熱処理」

## 八工3年生14人合格



### 材料技術科 過去最多を更新

八工市の八工工業高校 材料技術科の3年生14人が、国家検定「2級金属熱処理(一般熱処理作業)」に合格した。同校としてはこれまでの最多1人更新した。指導に当たった坂下哲也教諭によると、2級は主に社会人が受検する難易度の高い検定で、「こんなにも多くの生徒が合格するのは驚き」と話した。(相澤亮) 同検定は、職業能力 学んだことが生かされた。関係協会が英語、鉄鋼材、鉄鋼材料の知識をさらに習得することができたので、知識を問う筆記試験と、(1)は「初めて見る問題写真を見て表読を行う」、(2)は「あり難しかったが、合格試験がある。生徒は8 格でできるといい」と話。10月20日に筆記試験、同29日、坂下教諭は「向上心がある生徒たちで、一生懸命勉強していたので、合格は本当に素晴らしい。14人合格は本当に素晴らしい」と話した。

2021年11月20日 東奥日報掲載

# 10年間のあゆみ

デーリー東北

## 八戸エチーム 最優秀賞



特別表彰に選ばれた職科科の白坂慶哉さん（前列右）と、シルバー以上に認定された材料技術科の生徒

**青森大主催「高校生科学研究コン」**  
 青森県立八戸工業高等学校（竹谷孝助校長）の生徒が、青森大学主催の「高校生科学研究コン」で最優秀賞を受賞した。このコンクールは、高校生が各自の興味のあるテーマで、自主的に研究を行い、その成果を発表する場。八戸エチームは、地域のエネルギー問題テーマに挑戦し、再生可能エネルギーの活用について、独自の調査と実験を行い、その成果を論文として発表した。審査委員からは、実験の丁寧さや、データの正確さが高く評価された。

2022年1月8日 デーリー東北掲載

デーリー東北

2022年(令和4年)3月1日(火曜日)

## 八工高 最多152人認定

「ジュニアマイスター」顕彰



努力実り 喜びかみ締め

特別表彰に選ばれた職科科の白坂慶哉さん（前列右）と、シルバー以上に認定された材料技術科の生徒

**技術科 初の全員シルバー以上**  
 八戸工業高等学校は、今年度の「ジュニアマイスター」顕彰で、技術科の生徒が全員シルバー以上の認定を受けた。これは、本校の技術科が初めて達成した快挙である。顕彰は、生徒の自主的な学習態度や、実践的な能力の向上を評価する。技術科の生徒は、日々切磋琢磨し、高い技術力を身につけてきたことが、この成果につながったと、教員からは高く評価されている。

2022年3月1日 WEBデーリー東北掲載

デーリー東北

2022年(令和4年)1月25日(火曜日)

三八

## 八工高生が大会好成績

建康甲子園 小笠原さん、二子さん 審査委員長特別賞

【八戸】青森県立八戸工業高等学校（竹谷孝助校長）の土木建築科・建築コースの生徒が、各県大会で好成績を収めている。3年の小笠原悠斗くん（18）と二子健太くん（18）は、第13回建康甲子園（今年建康土木建築科主催）で審査委員長特別賞を受賞。2年の早狩さん（17）は、第21回年度高校生ものづくりコンテスト土木大会（関東甲信越地区）で審査委員長特別賞を受賞した。各校関係者は、この活躍を喜びをかみ締めている。

高校生ものづくりコン大会  
 早狩さん 木材加工部門V



屋根の下の小屋組みを制作



建康甲子園で審査委員長特別賞を受賞した小笠原悠斗さん（18）と二子健太さん

2022年1月25日 デーリー東北掲載

(11) スポーツ 第47045号 (第三種体育教師)の

### 間部(八工)大会新 102キ級

【最重量挙げ男子102キ級】スナッチが大会タイの90キ、ジャックが最高校新の114キ、トータルでは大会新の194キで優勝した間部(八工エ)＝柏木楓球高校第1体育館

間部(八工)は、この大会で、スナッチが大会タイの90キ、ジャックが最高校新の114キ、トータルでは大会新の194キで優勝した。間部(八工エ)＝柏木楓球高校第1体育館

「力の気持ちは」  
 ○大会記録を男子102キ級を制した間部(八工エ)は、この大会で、スナッチが大会タイの90キ、ジャックが最高校新の114キ、トータルでは大会新の194キで優勝した。

「本意に添った」  
 間部の選手が、この大会で、スナッチが大会タイの90キ、ジャックが最高校新の114キ、トータルでは大会新の194キで優勝した。間部(八工エ)＝柏木楓球高校第1体育館

2022年6月6日 東奥日報掲載

### 市村(玲)県高校タイ 59キ級

失敗立て直し全国切符

市村(玲)は、この大会で、スナッチが大会タイの90キ、ジャックが最高校新の114キ、トータルでは大会新の194キで優勝した。市村(玲)＝柏木楓球高校第1体育館



【最重量挙げ女子59キ級】ジャックで県高校タイとなる70キを成功させ、トータルを120キの高高校タイをマークした市村あおい(八工エ)＝柏木楓球高校

2022年6月5日 デーリー東北掲載

# 令和4年 (2022)

## 八工打線、5回爆発



○「もつとスライスに打ち入って、バットが振ったが、塁でヒットが打たれてしまった」と八工の松尾監督は、四回までは一進一退の戦いを繰り返したが、五回にはやがて八工打線が活躍し、連続ヒットで先制を挙げた。

八工工七回、5回八工爆発二回 大山守備中盤に盗塁器を放ち、5-14と勝ち、八工優勝

八工工・荒川風弥(4安打3打点の活躍)「広角に打てるのが自分の持ち味。投手が本調子じゃなかったのでバッティングが助けたかった」

2022年7月12日 デーリー東北掲載



「工事担任者1級デジタル通信」に合格した八工工業高の生徒

八工市の八工工業高校電子科の2年生13人が、インターネット接続回線工事に必要な国家資格「工事担任者1級デジタル通信」に合格した。

同資格は情報通信人材教育研究会が実施。基礎、技術、法規の3科目に合格すると、同資格を取得できる。同校によると、同資格は合格率が社会人も含めて10%程度と難易度が高く、一つの学校が一度に13人の合格者を輩出するのは全国でもトップクラスの多さだといふ。

## 八工高一挙13人合格

生徒たちは2月ごろから試験に向けた準備を始めた。授業や家で過去問を解いたり、生徒同士で問題を出し合い勉強を進めたという。5月に試験を受け、6月上旬に合格が発表された。

平渡介さん(16)は「試験では過去問になかった問題もあり難しかった。無事合格できてよかった」、杉本碧樹さん(17)は「どうしても覚えられない単語があったが、頑張って勉強してきたのでうれし。就職するときに役立たい」と話した。

(相澤賢吾)

2022年10月17日 東奥日報掲載

### 市村(玲) 女子59キ級10位

### 久保(玲) 男子81キ級16位

【重量挙げ女子59キ級】トータル127%で10位だった市村玲(八工工) = 7日、慶徳駅前 沼津市市民体育館

初の大舞台で緊張を覚えた市村玲は、前回の練習から比べて、この日のほうが自信を持って臨んだ。大会では、前回の練習から比べて、この日のほうが自信を持って臨んだ。大会では、前回の練習から比べて、この日のほうが自信を持って臨んだ。

### 【重量挙げ男子81キ級】トータル210%で16位だった久保雄輔(八工工) = 7日、慶徳駅前 沼津市市民体育館

久保雄輔は、大会で初の大会経験。大会では、前回の練習から比べて、この日のほうが自信を持って臨んだ。

### 【重量挙げ男子102キ級】トータル195%で22位だった関根克彦(八工工) = 8日、沼津市市民体育館

関根克彦は、大会で初の大会経験。大会では、前回の練習から比べて、この日のほうが自信を持って臨んだ。

2022年8月9日 デーリー東北掲載

## 八工工業高連覇 全国へ

設計を学ぶ高校生によるコンテスト「第13回建築甲子園」(主催・日本建築士会連合会、監理・建設業振興会)の県大会で、八工市の八工工業高校が連覇を果たし、月内に



### 建築甲子園県大会

### 西館さん 多世代集まる商店街提案

今年度の「甲子園」は、建築士会連合会が主催する建築甲子園。八工工業高校の西館さん(17)が、多世代が集まる商店街を提案し、県大会で優勝した。

2022年11月13日 東奥日報掲載

# 10年間のあゆみ

第47280号 (朝日新聞) 東奥 2023年2月4日

八戸工業高・土木建築科  
**国家資格 3年生全員合格**



土木コースの生徒たち

**閉科前最後の快挙喜ぶ**

八戸工業高の土木建築科で、最後の3年生となる31人全員が、国家資格合格の快挙を達成した。建設士15人は2級土木施工管理技師、土木コース16人は2級土木施工管理技師(仮称)のいずれも1次試験(筆記試験)に合格。関係者は喜びをこめて「いよいよの資格も、1次試験を合格し、高校卒業後、3年の実務研修を経て2次試験(実技試験)に合格すれば、資格を得られる。資格を得ると、施工計画の作成や管理など、現場を指揮する役割が与えられることになる。建設士1人は、3年生になったすぐには働けなかったが、昨年11月に受験した。佐々木孝典さんは初めて実務研修があったから、たまたま去冬冬期休暇中に現場で実務を経験したと試験を受け、合格した。

卒業後、建設現場の建設会社に就職する予定で「鳥取県自衛隊」になり、長く自衛隊員として活動する予定だ。土木コースは、昨秋10月、土木コース1人が昨年10月に試験、過去問を解いて試験に合格したと、山口虎樹さんは「困難がなかった。過去問を1回しか出題されていなかったが、練習もあったが、自信を持って解いた」と語る。

卒業生は「地域で公務員として働く予定で」「仕事をしながら、必要な専門知識を身につけていきたい」と話した。

2023年2月4日 東奥日報掲載

(11) (朝日新聞) 2023年1月23日

終盤意地の2点、後輩に夢託す

## 八戸工健闘

日光明 421100  
12120 2八戸工



〇上級大会に向けて健闘を続ける八戸工業高校のアイスホッケー部。1月20日、日光市立日光高校と対戦し、2点のリードで勝利した。試合は前半から互角の展開で、後半には八戸工業の攻撃が活発になり、後半2点のリードで勝利した。試合後、監督は「後半は意地の2点、後輩に夢託す」と語り、選手も「先輩の姿を見て、後輩に夢を託す」と話した。

アイスホッケー部は、1月20日、日光市立日光高校と対戦し、2点のリードで勝利した。試合は前半から互角の展開で、後半には八戸工業の攻撃が活発になり、後半2点のリードで勝利した。試合後、監督は「後半は意地の2点、後輩に夢託す」と語り、選手も「先輩の姿を見て、後輩に夢を託す」と話した。

2023年1月23日 デーリー東北掲載

朝日新聞 2023年1月



**八工高生 一挙11人合格**

国家資格「工事担任者1級アナログ通信」

八戸市の八戸工業高等学校で、子科の2年生11人が、電話回線の取り付け工事などに必要な国家資格「工事担任者1級アナログ通信」を昨年11月に受験し、見事合格した。同校によると、同月の試験で学校や企業などの団体が一度に11人合格者を輩出するのは全国最多だという。

同資格は日本アーク通信協会が実施。基礎、技術、法規の3科目に合格すると取得できる。生徒たちは昨年8月の夏、「工事担任者1級アナログ通信」に合格し、表彰状を掲げる生徒。

休みの頃から勉強を開始。放課後や自宅でもひたすら過去問を解いたり、生徒同士で教え合うなどして受験の準備を進めたという。

喜喜多隆之さんは「1級アナログ通信に加え、国家資格「工事担任者1級デジタル通信」にも合格。1級デジタル通信は同月にも受験したが、落ちてしまったという。悔しくて、6月に合格した。みんな追いつくことと頑張って勉強した。二つ二つに合格できよかったです」と話した。

中村友哉さんは「今までの勉強が正しかったということなのでうれしかった。今後、就職したときに生かしたい」と話した。(相澤隆之)

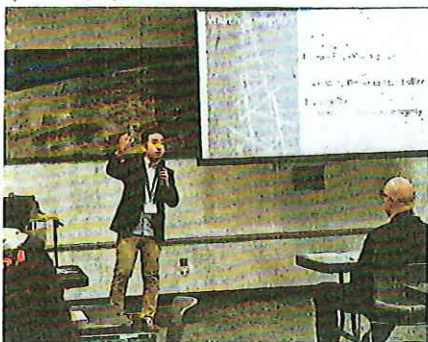
2023年3月4日 東奥日報掲載

令和5年 (2023)

# 宇宙教育実践 米で発表

八工高・井上教諭

## 「世界とつながりできた」



セミナーで発表した井上教諭

八戸市の八工工業高校電子機械科の井上教諭が、2月9日(木)に米国のヒューストンで開催された「宇宙教育」に関するワークショップ(SERC)で、ハイセンス・ヒューストン(HTS)に参加し、発表した。本県からの参加は07年以降が初めて、井上教諭は「世界中の宇宙教育に関わる方々とのつながりができたことが一番の収穫」と振り返る。(稲垣 賢亮)

ワークショップは宇宙分野教育に活用するため、世界各国の教育関係者が指導方法や考えを交換し、発表や意見交換、交流する機会が目的。2日目の今回は500人強が参加し、日本からは井上教諭と川原の高校教諭の2人が派遭された。井上教諭は「ワークショップは宇宙分野教育に活用するため、世界各国の教育関係者が指導方法や考えを交換し、発表や意見交換、交流する機会が目的。2日目の今回は500人強が参加し、日本からは井上教諭と川原の高校教諭の2人が派遭された。井上教諭は「ワークショップは宇宙分野教育に活用するため、世界各国の教育関係者が指導方法や考えを交換し、発表や意見交換、交流する機会が目的。2日目の今回は500人強が参加し、日本からは井上教諭と川原の高校教諭の2人が派遭された。」と振り返る。

工務学校の発表や自己向けのワークショップに導入することを発表した。井上教諭によると、ワークショップは宇宙分野教育に活用するため、世界各国の教育関係者が指導方法や考えを交換し、発表や意見交換、交流する機会が目的。2日目の今回は500人強が参加し、日本からは井上教諭と川原の高校教諭の2人が派遭された。

2023年3月5日 東奥日報掲載

## 小泉さん(八戸工)タイに研修派遣



研修派遣の決定通知書の手を握る小泉さん

### 日系企業の工場見学も

八工工業高校技術科2年の小泉浩志さん(八戸市)が、全日工工業学校校舎全棟の竣工記念として29日の日帰りでタイのバンコクに派遣される。成城や研究内容等を含めて、全日約600校の竣工記念の中から選ばれた八戸市の一人だ。小泉さんは「毎日工業大での授業加や先生との交流が楽しかった」と話している。(稲垣 賢亮)

2023年7月16日 東奥日報掲載

## 大学の授業、交流楽しみ

八工工業高校技術科2年の小泉浩志さん(八戸市)が、全日工工業学校校舎全棟の竣工記念として29日の日帰りでタイのバンコクに派遣される。成城や研究内容等を含めて、全日約600校の竣工記念の中から選ばれた八戸市の一人だ。小泉さんは「毎日工業大での授業加や先生との交流が楽しかった」と話している。(稲垣 賢亮)

## 八戸工 難関合格続々

### 川畑さん(3年)「応用情報技術者」



応用情報技術者試験に合格した川畑さん

八工工業高校3年の川畑浩志さんが、3年11月29日(土)に東京で実施された「応用情報技術者試験」に合格した。川畑さんは「試験内容は予想通りで、合格はうれしい」と話している。川畑さんは「試験内容は予想通りで、合格はうれしい」と話している。川畑さんは「試験内容は予想通りで、合格はうれしい」と話している。

### 「1級デジタル通信」全国最多19人



工事担任者の上位資格に合格した22人の生徒

2023年7月26日 東奥日報掲載



旧職員玄関



旧管理棟